

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～



Noism1 [OTHERLAND]
【2011.5.27～5.29/劇場】

タイプの違う三つのステージがそれぞれ素晴らしかったです。同時上演されたNoism2の「火の鳥」も期待以上でした。外部振付家を招聘する企画を時々行ってほしいです。
(長岡市/男性)

光と影、白と黒、アシンメトリーとシンメトリー、息づかい。身体美に何度もドキリとしてしまいました。
(新潟市/20代/女性)



能楽基礎講座 特別版
「馬場あき子 能楽の愉しみ」
第1回 テーマ:能「頼政」
【2011.5.21/能楽堂】

毎回ですが、とにかく内容が濃くて素晴らしいです。能がどんどん好きになります。
(匿名希望)

馬場先生のお話で、「頼政」という人の魅力がどんどん伝わってきて、とっても楽しかったし、能への興味を抱くことができました。また装束の着付けや小道具も詳しく見ることができて楽しかったです。
(新潟市/女性)



りゅーとぴあ・プライム・クラシック1500
Vol.9「ピアノ」清塚信也
【2011.5.27/コンサートホール】

ピアノのテクニックもさることながら、トークが面白くて、しかもとても為になりました。音楽家が生きていた時代背景を加味しながら聴くと、一層クラシックを楽しめると思いました。
(新潟市/30代/女性)

情熱のすごさ!音楽を伝えようとするハート!素晴らしい言葉になりました。これからまた生きる元気をいただきました。本当にありがとうございました。
(新潟市/40代/女性)



二兎社「シングルマザーズ」
【2011.4.18/劇場】

女性が子育てしながら働く大変さを実感しているの、そこをうまく表現しているところがすごいな～と思いました。笑えるところもあって楽しめました。また仕事を頑張ろうと思います。
(50代/女性)

二兎社の永井愛さんの作品は絶対に裏切らない。素晴らしい。キャストのみなさんも、今までのイメージ以上にパワフルで元気になりました。
(匿名希望)

RYUTOPIA MAGAZINE

りゅーとぴあマガジン 2011 Summer vol.25 | Life with Performing Arts

感動は自由席。

【CONTENTS】

- Spotlight Interview 仲村トオル
- Noism Report
- Ryutopia Navigation
- 山本真希のオルガン世界紀行
- ぶらりFURUMACHI
- 感動の余韻
- 読者プレゼント

りゅーとぴあカレンダー 2011 Summer



りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

プレゼント①

抽選で
ペア2組
4名様



イタリアンレストラン
「リバーージュ」(館内3F)ランチ券

プレゼント②

抽選で
ペア2組
4名様



10/16(日)
17:00開演
仙台フィルハーモニー管弦楽団 公演チケット
※プレゼントチケットはA席となります。ご了承ください。

応募方法:ご希望の商品名(①「リバーージュ」ランチ券、②「仙台フィル」公演チケット)、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌を入手した場所、本誌へのご意見・ご感想を記入の上、ハガキかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.25プレゼント係」 present@ryutopia.or.jp
応募多数の場合は抽選、当選者の発表は賞品の発送(公演チケットは当選のご連絡)をもって替えさせていただきます。また、いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2011年8月31日(水)必着



イタリアンレストラン
「リバーージュ」3F
TEL.025-224-7022
営業時間/ランチ11:30～14:30
ディナー17:00～21:00(LO 20:00)

〈2011夏のおすすめメニュー〉
リバーージュ特製 ～夏の冷製パスタフェア～

- ★小海老とフレッシュトマトのカベッリーニ
- ★ズワイカニとアボカドのクリーム和えカベッリーニ
- ※スープ、サラダ、コーヒー付き



【期間】
7/1～8/31
ランチタイム
ディナータイム

各 ¥1,200(税込)

※写真はおおよそです。
※館内イベント開催時等はご予約のお客様のみとさせていただきます。
※館内イベント状況によりラストオーダーの時間が異なりますのでお問合せください。

【編集後記】

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、震災の影響により前号の記載内容が一部変更となり、お客さまにご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。りゅーとぴあは今後も劇場文化の灯を消すことなく、舞台芸術を通じて夢と感動をお届けできるよう一杯つとめて参ります。夏のひととき、ぜひ気分をリフレッシュしにいらしてください。(編)

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあの他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティーセンター、みなとびあ、ほんぼーと、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アビル館、新潟県立図書館、新潟県立バス(東京)、長岡リリックホール、上越文化会館、三条中央公民館、小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など

■次号のりゅーとぴあマガジンvol.26は2011年10月1日発行予定です。

お問合せ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622 (休館日を除く 11:00～19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (休館日を除く 11:00～19:00)
- 施設利用お問合せ TEL.025-224-5621 (休館日を除く 9:30～18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

この世のような、 この世でないような、 不思議の世界へ…

「奇ッ怪～小泉八雲から聞いた話」（2009年）の第二弾として、新進気鋭の若手劇作家・演出家 前川知大（柏崎市出身）が手がける「奇ッ怪 其ノ式」。前作に引き続き出演する俳優の仲村トオルさんが、不思議な世界観が魅力的な前川作品を語ります。

——仲村さんは新潟とご縁が深いとか？

亡父は新潟が本社の会社のサラリーマンでした。妻の出身地でもありますし、母方の祖父も柏崎出身です。NHKの「こころ」というドラマのロケでもお世話になりましたし、約7年間、新潟でがんばる若者を紹介する『きりり★夢ファイル』（TeNYテレビ新潟）のナレーションも務めました。何かと縁があるんです。

——作・演出の前川知大さんとタッグを組むのは、今回で3度目ですね。

佐々木蔵之介君と共演した「抜け穴の会議室」という二人芝居の作・演出家として前川君と出会いました。前川君主宰の劇団「イキウメ」の公演を観て、すごく面白かったし、「抜け穴～」の脚本の一部分を読ませてもらったら、これまたすごく面白くて安心して。実際に組んだら、自分の才能の大きさや鋭さに気づいてない感じとか、カリスマっぽくないところも良いなあ…と思いました。

——前作の「奇ッ怪」では、演じてみてどんな印象を受けましたか？

前川君が書いて演出すれば、ただ表面的に怖い作品ではなく、絶対に面白いものになるという期待がありました。実際、演じていてとても楽しかったのですが、自分たちのやっていることの全体像を想像するのが難しい作品でしたね。

——新作の「奇ッ怪 其ノ式」は、能や狂言の要素を取り入れた現代劇とのことですが…

能と聞いて「敷居の高い伝統芸能」という印象を持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、実は能の演目はどれもシンプルな話とか…

チラシの写真撮影をした時点で、今回の舞台の世界観が少し見えた気はしますが、新しい作品に向き合うときには不安はつきものですが、前川君はもはや、絶対に大丈夫と思わせてくれる劇作家・演出家なので、稽古場で多少は優柔不断でも（笑）、きっと大丈夫です。

——舞台上で演じることの面白さや、役作りで心がけていることを教えてください。

映像の場合は、本番でOKになれば同じシーンを再び演じることはないですが、舞台は1カ月くらい同じシーンを繰り返し演じて、いっぱい失敗しながら作っていく面白さがあります。そして、本番が始まったら誰にも止められない、というのも舞台の醍醐味かもしれません。上手くいかなかったときにも受け入れてくれようとする観客のやさしさを感じる時もある。笑いがいつもより明らかに少なかった、とすぐに反応がわかってしまうこともある。終演後の拍手の音圧で、その日の出来の良さ悪しもわかります。

役作りについては、肉体的・技術的な準備は映像・舞台にかかわらずですが、脚本を読んだ段階で演じる人物を「こんな人」と決めるような役作りはほとんどしません。どんな小道具や衣裳が用意され、監督や演出家が何を求め、共演者がどんな芝居をするか…。それがわからないうちに決めてしまうと、自分ひとりの脳味噌で考えた限界を超えることができなと思っています。

——最後に新潟の演劇ファンへメッセージをお願いします。

今まで以上に多くの演劇人が「新潟には行っておこう!」と思うような流れをつくる、ひとつの力になれるようにがんばります。

仲村トオル
Nakamura Toru / 俳優

1985年映画デビュー。映像で活躍する一方、舞台作品にもコンスタントに出演。近年の主な出演作に「偶然の音楽」「微菌」など。前川知大の作・演出では「抜け穴の会議室」「奇ッ怪～小泉八雲から聞いた話」に出演している。今夏は連続ドラマ「チーム・バチスタ3 アリアドネの弾丸」も放送される。

撮影：野口博

現代音楽集VI 奇ッ怪 其ノ式 Information

【公演日】2011年9月6日（火）19:00 【会場】りゅーとびあ劇場
【作・演出】前川知大 【出演】仲村トオル、池田成志、小松和重、山内圭哉 ほか
【チケット】全席指定 6,000円 U-25シート 3,500円（25歳以下の方対象の限定割引席）
【発売日】一般7月22日（金）・会員7月20日（水）・演劇パル7月16日（土）



撮影：野口博

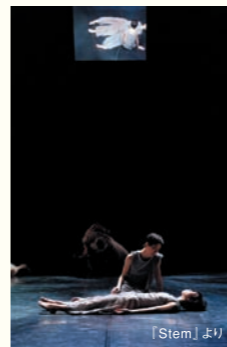
身体の可能性が伝えた 希望を繋ぐ確かな光

アレッシオ・シルヴェストリン、稲尾芳文、金森穰——。芸術という無形の魔物に魅入られ、自らを捧ぐ表現者たち。彼らの視線は何事にも揺らぐことなく、一心に未来を見据え旅をする。三者の魂が出会い、産み落とされた、新たな結晶の欠片。それは底知れぬ輝きを讃え、まだ誰もみたことのない大地「OTHERLAND」へと人々を連れ去っていった。

写真：村井勇

「折目の上」より

2007年の『W-view』以来、実に4年ぶりの上演を迎えた外部振付家招聘企画「OTHERLAND」。芸術監督・金森穰にとって本公演は、次に挑むべき新たな境地であり、ある意味自信のあらわれだったのかもしれない。今回創作を手がけたアレッシオ・シルヴェストリン、稲尾芳文の両者は共に金森と同世代であり、かつてルードラ・ベジャール・ローザンヌで学び競った仲間でもある。未来だけを真っ直ぐに見つめ、切磋琢磨し、同時代を戦い抜いてきた彼らに、カンパニーの“今”を差し出す勇氣。この4年という月日の中で手に入れてきたもの、ダンサー



「Stem」より

に問いかけてきたもの、着々と積み上げてきたもの。それを、金森自ら「ライバルであり、精神的同志」と語る二人の友に託さんとする決意は、並大抵のものではないはずだ。また金森の期待を一手に担うダンサーたちも、重大な責務を

背負うことになる。このステージに立ち向かうメンバーの想いとは、果たしていかほどのものなのか——。アレッシオが発表したのは、“能楽”に着想を得た新作「折目の上」。日本の伝統芸能に潜む規則性と様式美を、不規則な音と動きの連鎖をもって、現代のステージという異空間の上に浮き彫りにする。



「Psychic 3.11」より

抑制の中から匂い立つ、スリリングかつ鋭利な気配……。感傷を徹底して排した所作が、凜とした洗練と官能を呼び起こす。一方、稲尾芳文&クリスティン・ヨット・稲尾作『Stem』が伝えるのは、優しくもふわりとした土着の薫り。交錯する手の温もり、アンサンブルの奏でる熱、息づかい。それは人間の内を奮わす力強い鼓動を思わせ、脈々と流れる転生の神秘を彷彿とさせる。三部作のラストには、

2009年の金森振付作品『Psychic』を再振付し、世界初演となる『Psychic 3.11』を披露。何より今作の見所となったのが、ダンサー・金森穰の登場である。金森の肉体ひとつが加わるだけで、舞台はたちまち色を増す。空気が急速に密度を高める。ほんのわずかな出番ながら、すべての視線を奪い去るその踊り手としての才覚に、改めて大きな感服の念を覚えた。もうひとつ、忘れたい場面がある。2009年の上演時には幕切れの際にパチリと消されたライトの灯りが、ここでは一転、ダンサーの両手でそっと大切に包み込まれる。しんとした暗闇の中で、微かに揺らめく仄かな灯火——。それは、未来へ続く希望の提示、いつか訪れるであろう確かな夜明けの暗示にもみえた。

痛みの多い時代だからこそ、誰もが夢をみずにいられない。夢をみるには、糧がいる。笑いでも、涙でもいい、心動かす小さな糧が——。金森とNoismの踊り手たちは、そこに自らを捧ぐ道を選んだ。彼らは踊る。身体の可能性を信じて。だからこそ我々は、その姿を追い求めずにいられない。今日より輝く、明日を願って、彼らがただ踊り続けている限り。

取材・文：小野寺悦子

SAITO KINEN FESTIVAL 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本2011」Noism参加決定!

小澤征爾総監督の下、1992年9月に長野県松本市で始まったサイトウ・キネン・フェスティバル松本。今年で第20回目を迎えるこのフェスティバルにNoismが参加することが決定しました。メインプログラムのオペラとバレエをNoism芸術監督の金森穰が演出・振付、Noismメンバーがダンサーとして出演します。オーケストラの演奏で舞い踊るNoismの舞台をどうぞご期待ください。

【演目】バルトーク：オペラ「青ひげ公の城」
バルトーク：バレエ『中国の不思議な役人』 ※2本立て・全4回公演
【指揮】小澤征爾（青ひげ公の城）、沼尻竜典（中国の不思議な役人）
【演出／振付】金森穰
【空間】田根剛、リナ・ゴットメ、ダン・ドレル（DGT）
【衣裳】中嶋佑一（artburt）
【日時】2011年8月21日（日）16:00、23日（火）19:00、25日（木）19:00、27日（土）16:00
【会場】まつもと市民芸術館・主ホール

お問い合わせ・詳細等 <http://www.saito-kinen.com/j/>

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援してくださる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは<http://www.noism.jp/>「活動支援」/りゅーとびあ事業課（TEL.025-224-7000）までお問合せください。

RYUTOPIA NAVIGATION 2011 SUMMER/AUTUMN

2011年夏～秋のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は本誌折込のりゅーとびあカレンダーをご覧ください。

楽聖ベートーヴェンの核心に迫る連続演奏会がスタート!

りゅーとびあ・ベートーヴェン・ツィクルス
■コンサートホールほか

ラ・フォル・ジュルネ“ベートーヴェン”はお楽しみいただけただけでしょうか?次はいよいよ真打の登場です。9月からスタートの「りゅーとびあベートーヴェン・ツィクルス」。りゅーとびあ今年のテーマ「ベートーヴェン」を本格的にお楽しみいただく連続演奏会です。ラ・フォル・ジュルネに代役で登場して満席の大喝采を受けた仙台フィルも、今度は自らの定期演奏会のプログラムを持っての再登場。迎えるのは準フランチャイズの東京交響楽団。仙台フィルは交響曲第3番「英雄」と第4番。東響は新潟では初の第9番「合唱付」。そして茂木大輔のオーケストラによる第6番「田園」も加わるオケ3団体という豪華版。ツィクルスはベートーヴェンの核心である交響曲と弦楽四重奏曲とピアノ・ソナタに特化した構成が聴きどころです。ラ・フォル・ジュルネでベートーヴェンに感動した皆様、45分ではなく2時間たっぷりとベートーヴェンの醍醐味をご堪能ください。



【Vol.1】第67回新潟定期演奏会/東京交響楽団(9/4)
【Vol.2・5・8】クアルテット・エクセルシオ(9/21・10/21・12/6)
【Vol.3】平井千絵(10/6)
【Vol.4】仙台フィルハーモニー管弦楽団(10/16)
【Vol.6】茂木大輔のオーケストラコンサート(11/19)
【Vol.7・9】イリーナ・メジュエワ(12/4・12/20)
【Vol.10】第69回新潟定期演奏会/東京交響楽団(1/15)

4歳から楽しめるパイプオルガンのコンサート

オルガン・サマーデイズ2011 ワンコイン・オルガンコンサート
■2011.8.5(金)・6(土)両日とも11:30開演 ■コンサートホール

パイプオルガンならではのオーケストラにも負けない迫力ある大音響や、多彩な音色の魅力を気軽に楽しめる夏休み恒例のコンサート。オルガン奏者の鮮やかな演奏の様子を大スクリーンで見ながら、「のだめカンタービレ」などでおなじみの名曲をお聴きください。4歳から入場できて小学生以下は無料。中学生以上500円と料金もたいへんお手頃ですので、お子さんやお孫さんとの夏休みの楽しい思い出づくりにぴったりです。

山本真希 中野ひかり

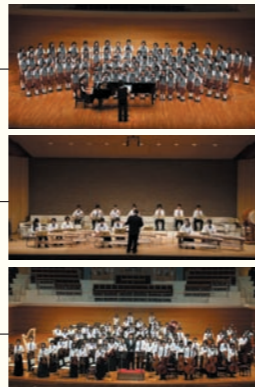
夏の暑さを吹き飛ばす子どもたちの爽やかな演奏

「プロの演奏に負けない感動がある!」と、毎回たくさんのお客さまから絶賛されている新潟市ジュニア音楽教室(オーケストラ・合唱・邦楽合奏)の定期演奏会。子どもたちの一生懸命な演奏が爽やかな感動と元気を届けてくれます。

新潟市ジュニア合唱団
第21回定期演奏会
■7/24(日)14:00開演 ■コンサートホール

新潟市ジュニア邦楽合奏団
第16回定期演奏会
■7/31(日)14:00開演 ■新潟市音楽文化会館

新潟市ジュニアオーケストラ教室
第30回演奏会
■9/11(日)14:00開演 ■コンサートホール



音響の優れたコンサートホールでオペラの最高傑作を!

ウィーンの森 Bühne バーデン市劇場
歌劇「カルメン」
■2011.9.28(水)18:30開演 ■コンサートホール

「ハバネラ」「闘牛士の歌」などの名曲で知られるオペラ《カルメン》を「ホール・オペラ」形式(本格的な舞台装置・衣裳を使ったコンサートホールでのオペラ)で上演。由緒あるオーストリアの名門劇場ならではの誰にでも楽しめるオーソドックスな演出、質の高いオーケストラ、そして全ヨーロッパからオーディションで選抜された歌手たちが魅力的なオペラをお贈りします。



宮本まみ 後藤ゆり子

世界的なバッハ演奏のスペシャリストが初登場

ロレンツォ・ギエルミ オルガンリサイタル
■2011.9.3(土)15:00開演
■コンサートホール

ルネッサンス、バロック音楽の第一人者であるギエルミは、16～17世紀におけるオルガン芸術、とりわけJ.S.バッハの作品解釈についての研究に熱心に取り組んでいるオルガニスト。今回はバッハの作品を中心に、ドイツ、イタリアの珠玉作品の数々をお届けします。壮麗な響きの中にあっても明るく軽快、繊細で透明感のある多彩なバロック音楽の世界をお聴き逃がしなく!



ロレンツォ・ギエルミ

シリーズ待望の最新作はシェイクスピア最初のロマンス劇!

りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズ第七弾
ペリクリーズ ～船上の宴～
■2011.9.8(木)・9(金)19:00開演、10(土)14:00開演 ■能楽堂

和の精神と手法による斬新な演出でヨーロッパでも高い評価を獲得している「りゅーとびあ能楽堂シェイクスピアシリーズ」。“なにもない空間＝能楽堂”に咲き乱れるシェイクスピアの言葉は、観客の想像力を刺激し、揺さぶりをかけ、壮大なイマジネーションの世界を立ち上げます。シリーズ最新作は、シェイクスピアが書いた最初のロマンス劇「ペリクリーズ」。数奇な運命に翻弄される主人公ペリクリーズの波瀾万丈な物語を、演出家・栗田芳宏が大胆な解釈でお届けします。主役を務める演劇ユニットAxle(アクサル)の柄谷吾史や、新潟を拠点に活動する俳優たちの演技にも注目です。

【作】W.シェイクスピア 【翻訳】松岡和子
【構成・演出】栗田芳宏 【出演】柄谷吾史、山賀晴代、栗田芳宏 ほか
■東京公演 2011.9.23(金・祝)17:00開演、24(土)13:00開演・17:00開演 ■梅若能楽学院会館

夏休みに親子で楽しもう!

国際児童青少年芸術フェスティバル TACT/FESTIVAL in NIIGATA
■2011.7.29(金)～31(日) ■劇場、スタジオA、スタジオB

子どもだけでなく大人も楽しめる舞台作品を、海外や国内のアーティストが、りゅーとびあ内の様々な会場で上演。観劇の合間に親子で参加できるワークショップや無料公演も楽しめます。カナダの劇団コープスによる「ひつじ」は、現実とファンタジーが出会うユニークなライブパフォーマンス。りゅーとびあに田舎のひつじ牧場を再現して、子どもたちを面白い不思議な世界へお招きします。みんなでひつじになる(?)体験ワークショップもありますよ。



コープス「ひつじ」 コープス「飛行隊」

コープス「ひつじ」(無料公演)
■7/29(金)15:00、7/30(土)13:00、7/31(日)11:00
■劇場ホワイエ(年齢制限なし)

ゲキダンキオ「ぎつね」(無料公演)
■7/29(金)16:00 ■スタジオB(4歳以上)

コープス「飛行隊」(有料公演)
■7/30(土)15:00 ■劇場(4歳以上)

ウロツテノヤ子バヤンガンズ
「ハチドリ」(有料公演)
～ガムラン&影絵のパフォーマンス～
■7/31(日)14:30
■スタジオB(4歳以上)

90分間、舞台上に降り続ける激しい雨!!

血の婚礼
■2011.8.6(土)13:00開演・17:00開演、7(日)13:00開演
■劇場

作・清水邦夫、演出・蛭川幸雄のゴールデンコンビによる名作が、12年ぶりに待望の再演!雨が降り続く路地。男女の、そして血族の愛憎。壊れたトランシーバーで交信を続ける少年。路地裏の住人たちの密やかな生活一。清水戯曲の特徴である詩的な台詞と独特のユーモアに彩られ、ダイナミックに展開する物語を、窪塚洋介、中嶋朋子、伊藤蘭など、刺激的なキャストでお届けします。



苦難を乗り越え、強く生きる少年スーホの物語!

りゅーとびあ演劇スタジオ キッズ・コースAPRICOT 2011夏季公演
APRICOT誕生10周年記念公演「スーホの白い馬」
■2011.8.19(金)～21(日) ■劇場

2001年8月に第1回公演「小公子」を上演してから、APRICOTは今年で10周年を迎えます。今年の夏はそんなメモリアルイヤーにふさわしい壮大な作品「スーホの白い馬」を上演。生きる喜びや悲しみを、趣向を凝らした演出と、子どもたちの命の輝きで描き出します。さらに今回は元・宝塚トップスター高汐巴を迎え、より高い完成度を目指します。APRICOTのOB・OGも加わって、10周年記念公演を盛大に創ります。



前回公演「ホンゴロ愛しいもの」(「スーホの白い馬」序章)より



RYUTOPIA et cetera



コンサートにいらして下さったみなさんと



野村先生や教会のみなさんとお食事

オルガン・インフォメーション

- 山本真希オルガンリサイタルシリーズ No.12「スペインのオルガン音楽Ⅱ」(7/15)
- ワンコイン・オルガンコンサート(8/5・6)
- オルガン探検ツアー(8/5・6)
- ロレンツォ・ギエルミ オルガンリサイタル(9/3)

※公演情報の詳細は「りゅーとびあカレンダー」をご覧ください。

山本真希のオルガン世界紀行

文・写真 山本 真希(りゅーとびあ専属オルガニスト)

vol.5

福島県福島市 ～いずみルーテル教会牧師の野村治先生～

ヨーロッパでは現在でもオルガンの演奏会は主に教会で行われています。オルガンが教会にかかわるようになり、オルガン音楽芸術の出発点となった14世紀頃から、この伝統は今も変わっていません。教会暦とともに季節がめぐり、オルガンは人々の生活の中にあって、とても身近な存在なのです。

教会は、大型の楽器と抜群の音響を備えた音楽専用ホールとは全く違う空間ですが、コンサートホールにはない神聖な趣があります。信仰を持つ多くの方が集い祈りを捧げる、そんな日常が繰り返され、大切に守られている空気に、ふと心地よく包まれるように感じるので。

昨春秋、福島市にある、いずみルーテル教会で演奏する機会をいただきました。教会牧師の野村治先生は、以前、新潟のぞみルーテル教会で牧師をされていた方です。新潟にいらっしゃる際に知り合い、新潟の教会でも以前演奏させて頂いたことがありました。福島へ移られてからも、私の活動をいつも応援してく

ださり、福島の教会での演奏会を企画し、お招きくださいました。普段のコンサートとはまた違った温もりが漂う中、先生との嬉しい再会と新しい出会いもあわさって、心に残るコンサートとなりました。

東北に大きな被害をもたらしたこの大震災では、幸い、先生を初め皆さん、そして築60年になる会堂も大きな被害はなかったとのこと、何よりご無事だったのことにひとまずほっとしました。

野村先生はご自身も被災され、不自由な生活をおくられている中にもかかわらず、「被災された福島の人を励ます会を6月に開こうと今計画中です。あなたもくれぐれも気をつけてね」と大変な中ご連絡くださいました。

今この国が必要なことを考え、必ずちたなおと信じ、前に向かって進む。“信じる力”と“行動すること”が日本を支え、新しい未来を築くのであり、私たち一人ひとりに何をすべきかが問いかけています。それぞれの思いのこもった行動が、復興への原動力となり、日本の明るい未来へとつながっていくと信じています。

PROFILE Yamamoto Maki
大阪府出身。神戸女学院大学音楽学部、同専攻科卒業後渡独。ドイツのフライブルク、シュトゥットガルトでオルガンを学ぶ。第1回ドイツ・ランドゥスベルク国際オルガン・コンクール第3位。りゅーとびあ専属オルガニスト、大阪相愛大学オルガン科講師。新潟市在住。



※古町(FURUMACHI)：りゅーとびあに一番近い老舗商店街

ぶらりFURUMACHI

文・イラスト：迫 一成 (hickory03travelers)

vol.5

「こどもと過ごす古町」

こんにちは。福岡出身の古町好き、ヒッコリーの迫です。このコラムを書くようになってから、早いもので1年になりました。僕の息子も1歳半になり、走り回ったり言葉を覚えたりと、「目に入れてもいたくない」今日この頃です。こんな親ばかの私ですが、親ばかりかつかいにもう一つ。最近土日のどちらかを休み子供と過ごしているのですが、古町(周辺)で親子で時間を過ごすのも良いものです。例えば、遊具があってオサルさんもいる白山公園や、涼しげな噴水があるりゅーとびあ空中庭園は、緑もいっぱい気持ちが良いので、子供は当然はしゃぎますし、大人も穏やかな気持ちで時間を過ごせます。ちょっとお腹がすいたらカミフル(上古町商店街)でのんびり食事をするのも良いですし、おやつに団子や、糍(こうじ)アイスを味わうのも良いと思います。古町通りをずーっと進んで、気になるお店にどんどん入ってみましょう。古町5番町からは車も入ってこないで、安心です。子供目線で歩く古町は、



いろいろなものがあって、飽きないはず。 「久しぶりに古町を歩いたらいろんなお店があって楽しかった!!」という声を、たくさんいただいています。みなさんもお子さんやお孫さんを連れて、ぜひ古町散歩におこしてください。わからないことがあれば私のお店に、訪ねてきてくださいね♪

PROFILE Sako Kazunari 1978年福岡県生まれ。2001年クリエイティブ集団hickory03travelers結成。「日常を楽しむ」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨などのデザイン制作・販売を一貫して行う。その他、個展、イベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔軟に活動中。
<http://www.h03tr.com>

RYUTOPIA Before? After?



りゅーとびあでのコンサートや舞台鑑賞の前後に立ち寄りた「パートナーショップ」のお店をご紹介します。

WA'S STYLE (ワズスタイル)

和雑貨や和装小物、キモノを販売している和のセレクトショップです。キモノレンタルも行っています。



新潟市中央区古町通4-645
TEL 025-228-0841
<http://www.wasstyle.com>
【営業時間】11:00~19:00
【定休日】火曜日、第1水曜日

パートナーショップ特典

5%割引(キモノレンタルを除く)

パートナーショップとは?

りゅーとびあで開催された公演チケットか、りゅーとびあ友の会N-PAC mate会員証を提示すると、サービスをご利用いただけるお店です。現在42店舗が加入中! 詳細はりゅーとびあホームページでご確認ください。
※公演によっては対象外のものもございます。

INFORMATION

りゅーとびあ

ご利用 How much ?

りゅーとびあの様々な利用方法をご提案します。

コンサート会場は…能楽堂!?

能楽堂の扉を開けるとほんのり檜(ひのき)の香りにつつまれます。屋内でありながら茅葺き屋根をかぶった能舞台。世界に誇る日本の伝統芸能が演じられています。能以外にもお使いいただけるのがりゅーとびあ能楽堂。室内楽のコンサートやお芝居にも利用でき、幻想的な空間が観客だけでなく演者をも魅了します。

※利用内容、附属設備、利用区分(午前・午後・夜間)、曜日によって料金が変わりますので、詳しくは下記へお問い合わせください。また、稽舞台のためご利用上の注意点がございましたら併せてご相談ください。

りゅーとびあ 施設課 利用サービス係 TEL 025-224-5621(9:30~18:00)



ヴァイオリンコンサート
13:00~準備、リハーサル
19:00開演、21:00終演
平日開催/入場無料

能楽堂利用例(13:00~22:00)

- 施設使用料 計¥51,000
- 付属設備使用料 計¥13,650
- 午後準備…¥17,000
- 夜間本番…¥34,000
- 舞台養生用パネル、チェロ椅子、楽屋1室(各午後・夜間2区分)、音声拡声装置、照明セット、ワイヤレスマイク、マイクスタンド(各夜間1区分)

合計 ¥64,650

りゅーとびあ

SHOP 通信

りゅーとびあSHOP(館内2F)
営業時間 11:00~19:00(休館日を除く)

【カトラリーセット】

スプーン3本、フォーク3本

●価格 ¥1,680 → **¥1,365(税込)**

<サイズ> 約12cm

<材質> スプーン、フォーク:13-0ステンレス(金メッキ仕上げ)
スタンド:鉄(クロームメッキ仕上げ)

まるで2連符のような食卓を楽しくしてくれるカトラリーセット。値下げになって新登場!ぜひこの機会にいかがですか?ちょっとしたプレゼントに最適ですよ♪



※写真はイメージです



「借りぐらしのアリエッティ」©2010 GNDHDDTW

2011年11月3日(木・祝)~2012年1月15日(日) 新潟県立近代美術館

主催:新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟、借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展新潟実行委員会

新潟市出身月組組長越乃リュウの月組 待望の新潟公演!!

宝塚歌劇月組 新潟公演

2011年11月29日(火)

昼の部 開場13:30/開演14:00
夜の部 開場17:30/開演18:00

新潟県民会館



写真:イメージ

全席指定 S席 7,000円(税込) / A席 6,000円(税込)

電話予約・お問合せ [TeNYチケット専用ダイヤル] (平日9:30~18:00)

TEL 025-281-8000

<http://www.teny.co.jp/> 詳しくは、TeNYのホームページ「イベント情報」をチェック!!

グレン・ミラー オーケストラ

永遠の名曲:茶色の小瓶/イン・ザ・ムード/
真珠の首飾り/ムーンライト・セレナーデ

2011年11月11日(金)

開場18:00/開演18:30

りゅーとびあコンサートホール

全席指定 6,000円(税込)



ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2011

ディズニーの名曲をフル・オーケストラとブロードウェイで活躍するヴォーカリストでお贈りします。
「リトル・マーメイド」「魔法にかけられて」
「バイレーツ・オペ・カリビアン/生命(いのち)の泉」他

2011年12月10日(土)

開場16:00/開演17:00

りゅーとびあコンサートホール

全席指定 S席 8,000円(税込) / A席 7,000円(税込)

※未就学児入場不可



©Disney ©Disney Enterprises, Inc.

TONY 30th